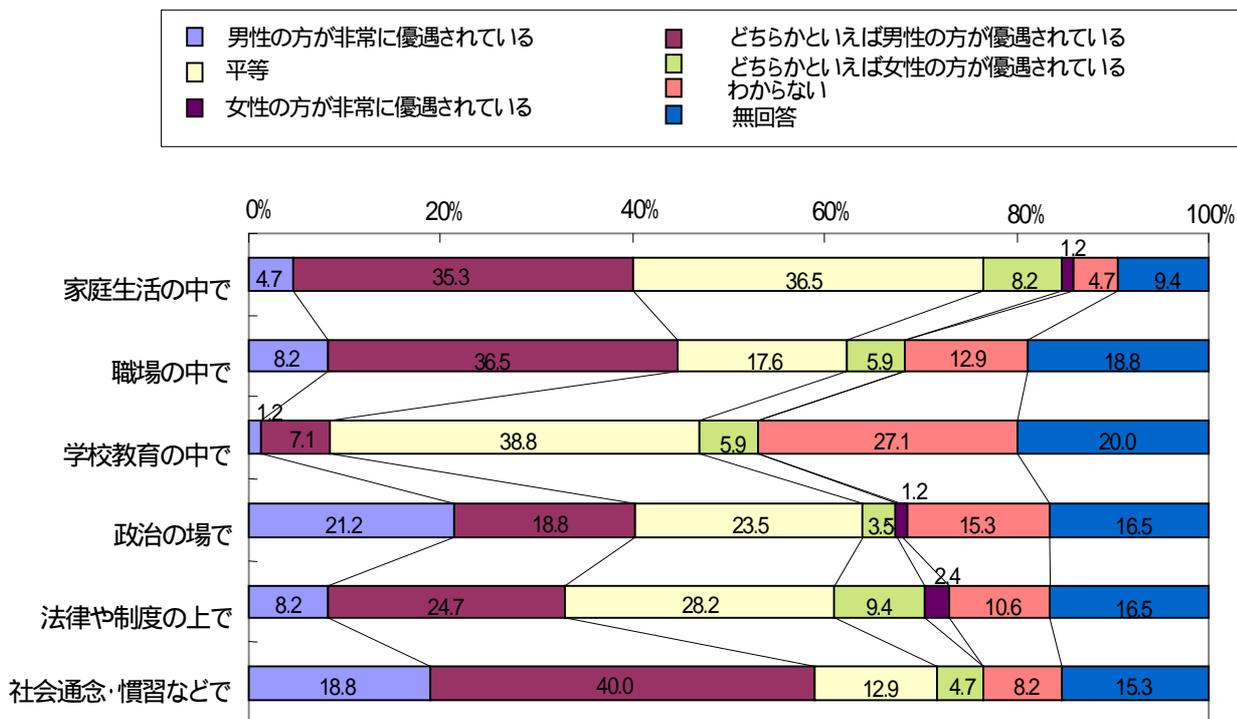


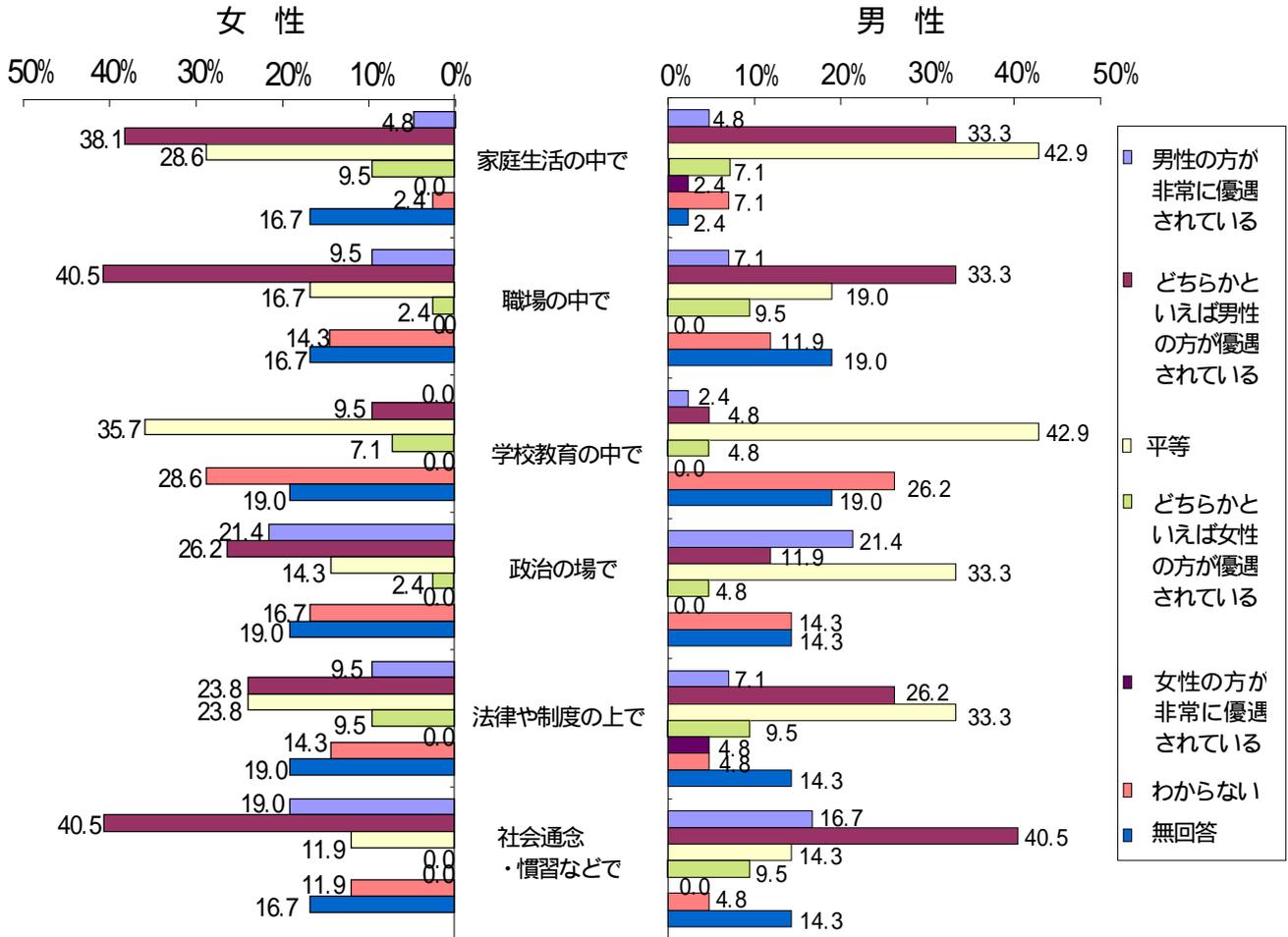
男女平等について

- 男女の地位の平等感について6つの分野で聞いたところ、「平等」と回答した人の割合は「学校教育の中で」38.8%、「家庭生活の中で」36.5%、「法律や制度の中で」23.5%、「職場の中で」17.6%、「社会通念・慣習などで」12.9%の順となった。
- 各分野とも「男性の方が優遇されている」とする人の割合が、「女性の方が優遇されている」とする人の割合を大きく上回っている。
- 全体として、「職場の中で」「法律や制度の上で」「社会通念・慣習などで」の項目は「男性のほうに優遇されている」と回答した割合がそれぞれ最も高く、旧釧路市調査と同様の傾向であった。
- 「男は仕事、女は家庭」という役割分担意識については、全体として見ると「共感できる」が33.0%、「共感できない」36.5%と3.5ポイントの差があるもの、肯定派、否定派がほぼ2分する結果となった。
 しかし、「どちらともいえない」とする人の割合も24.7%に達している。
 男女別に見ると、男性は「共感できる」とする肯定派は40.4%、女性は「共感できない」とする否定派が40.5%となり、男女間の意識の差がはっきりと見られ、全体的に旧釧路市調査と同様の傾向であった。
- 共働き家庭での「役割分担」については、「手のあいている方が家事や育児をすればよい」とする回答が女性で50.0%、男性42.9%と高い割合を示している。

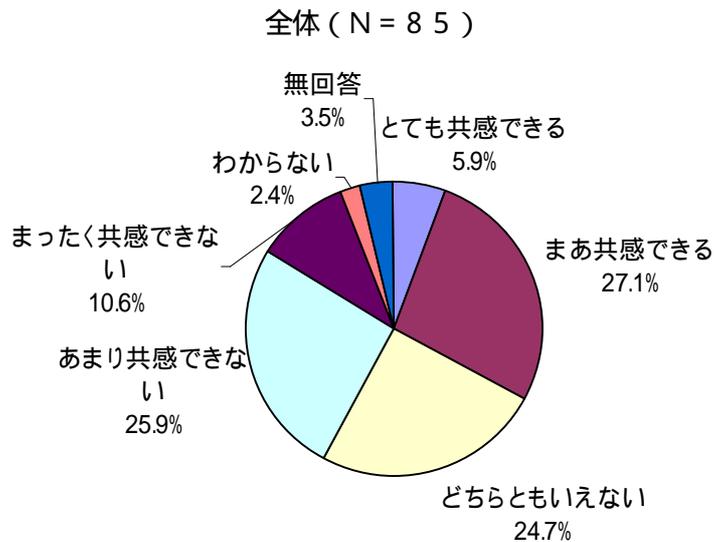
問1 あなたは次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。 全体 (N = 85)



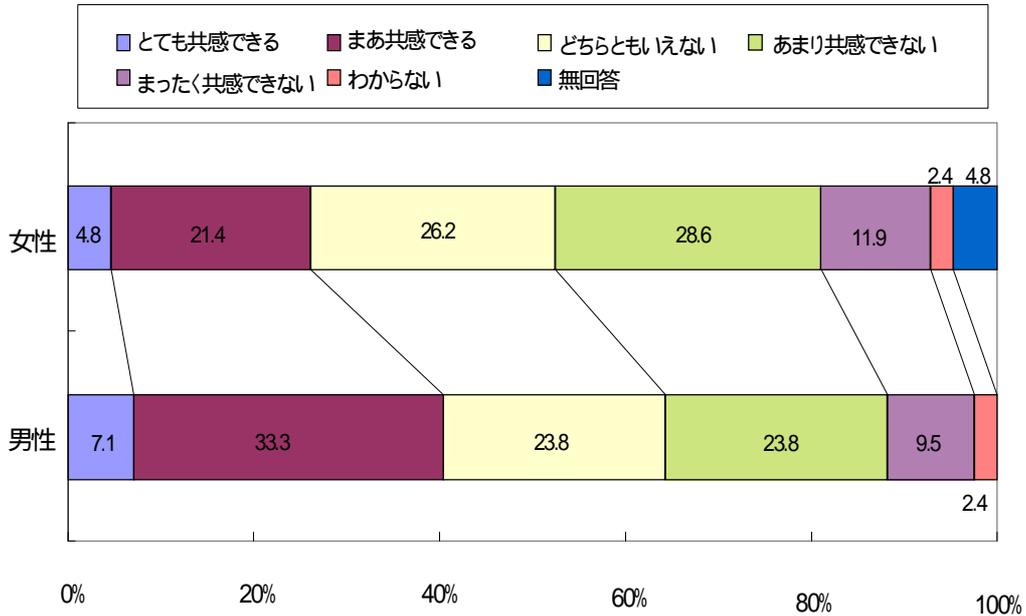
男女別



問2 「男は仕事、女は家庭」という役割について共感できますか。



男女別



問3 一般的に、共働き家庭での家事や育児の役割分担についてどのように考えますか。

